
平成25年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成25年3月13日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 上野盛郎委員（自民党）
- 3 草間剛委員（自民党）
- 4 麓理恵委員（民主党）
- 5 加納重雄委員（公明党）
- 6 木下義裕委員（みんな）

温暖化対策統括本部

局別審査

1 大貫憲夫委員(共産党)

1 溫暖化対策事業について

- (1) 横浜市政における温暖化対策の位置づけについて伺いたい。
- (2) 温暖化対策を進めていくまでの決意について伺いたい。
- (3) 直近の温室効果ガス排出量の推計結果、特に経年の変化と基準年に対する増減、そのことに関する見解について伺いたい。
- (4) これまで行ってきた、家庭での再生可能エネルギーに対する施策、助成などの成果について伺いたい。
- (5) 温暖化対策実行計画での太陽光発電、太陽熱利用設備の中期目標と到達点について伺いたい。
- (6) 2.4%や0.2%といった、住宅用太陽光発電の導入率の評価について伺いたい。
- (7) 温暖化対策実行計画に掲げた再生可能エネルギー普及の方針について伺いたい。
- (8) 新年度予算で太陽光パネルの補助をどう変えたのか伺いたい。
- (9) 太陽光の補助対象を3.5KW未満に下げてしまった。これから飛躍的に拡大しなければならないという時だからこそ、もっと対象を拡大し、補助率も上げていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (10) 省エネについて、家庭対策ではHEMS以外にどのようなことを行っているのか伺いたい。

2 上野盛郎 委員（自民党）

1 横浜スマートシティプロジェクトにおけるBEMS実証について

- (1) BEMS実証の進捗状況について伺いたい。
- (2) 統合BEMS実証の結果について伺いたい。
- (3) 統合BEMS実証の25年度、26年度の展開について伺いたい。
- (4) 中小規模のビルへのBEMS導入について、どのように取り組んでいくのか
伺いたい。

2 環境未来都市 みなとみらい2050プロジェクトについて

- (1)「みなとみらい2050プロジェクト」では、どのような方法で、どのような
ことを検討するのか伺いたい。
- (2)「みなとみらい2050プロジェクト」での温暖化対策統括本部の役割につい
て伺いたい。
- (3)「みなとみらい2050プロジェクト」の取組をどのような場で、どのように
プロモートしていくのか伺いたい。

3 草 間 剛 委員（自民党）

1 横浜の水素エネルギーの現状と今後の取組について

- (1) 「環境未来都市」構想の現在の国における政策上の位置づけについて伺いたい。
- (2) 横浜市環境未来都市計画における水素エネルギーの利活用の取組について伺いたい。
- (3) 水素エネルギーの取組を環境未来都市に位置付けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 麓 理 恵 委員(民主党)

1 横浜スマートシティプロジェクトのHEMS実証について

- (1) これまでのHEMS導入状況について伺いたい。
- (2) 25年度の目標と達成するための取組について伺いたい。
- (3) 省エネ行動実験の具体的な内容について伺いたい。
- (4) 横浜の実証の特徴について伺いたい。
- (5) 実証の成果を活用した今後の展開について伺いたい。

(要望) 実証を実証で終わらせることなく、引き続き、市民の目線とその声を大切にしながら、市民の節電意識の向上を図るとともに、より多くの市民がHEMSを導入して、その良さを実感できるよう積極的にPRしていただきたい。

5 加納重雄委員（公明党）

1 I T T Oと連携した環境施策について

- (1) I T T Oに対する認識について伺いたい。
- (2) I T T O事務局長の演説に対する所感について伺いたい。
- (3) I T T Oとの連携の進め方について伺いたい。

6 木 下 義 裕 委員（みんな）

1 スマートシティについて

- (1) みなとみらい2050プロジェクトの推進にあたっては、具体的な目標と長期的な財政見通しを持つべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (2) コペンハーゲンとバルセロナの視察結果を、みなとみらい2050プロジェクトへどのように生かしていくのか伺いたい。
 - (3) 横浜スマートシティプロジェクトが目指す具体的な姿について伺いたい。
 - (4) 横浜は北九州の取組をどのように捉えているのか、見解を伺いたい
 - (5) I P C C 横浜開催に際し、若い世代の人々が最新の知見に触れる機会を設けることは重要であると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 北九州市の取組は大変素晴らしいので、良いものは積極的に本市も取り入れて、北九州市に負けないような取組をしていただきたい。